

# ふれあい新聞

新年号



くわがいデイサービスセンター  
佐々木稔様作

発行日 平成 26 年 1 月 1 日 第 52 号  
発行 社会福祉法人 瑞穂会  
ふれあい新聞編集部  
本部 〒444-0936  
岡崎市上佐々木町字大官 49 番地  
TEL (0564) 34-3666  
FAX (0564) 34-2347

## 退任の挨拶

社会福祉法人瑞穂会 前理事長

石川 新平

光陰矢の如しと申します。私が瑞穂会を創設してより十数年となり、その間、職員・従業員・入居者・その他皆さんの協力を賜り感謝の極みであります。

九十歳の高齢となり、その事業にたへられなくなり過日辞任いたしました。

そして新しく手嶋寛人さんに新理事長として就任して頂くことになりました。

事業も大きくなりましたが大変ですが、私以上皆さんのご協力をお願い致します。

今後のご発展を祈念致しまして辞任の挨拶と致します。

「老兵は死なず、ただ去りゆくのみ」

司令官 ダグラス・マッカーサーの言葉より

## 年頭の挨拶

社会福祉法人瑞穂会 理事長

手 嶋 寛 人

平成二十六年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、私たち社会福祉法人瑞穂会の運営に対し、心温まるご支援。ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

日本経済は、いわゆる「アベノミクス」により、景気に変化が見え始めておりますが、社会福祉法人を取り巻く環境は、成長産業といわれているほど今後の上昇が期待できるような時代ではなくなってきました。大変厳しい時代環境となっております。

このような状況下、昨年六月に理事長に就任しましたが、毎日約六百名のご利用者の皆さんと二百六十名の職員の皆さんに今後も継続して安定的な法人経営ができるよう全力を尽くす決意でございますので、変わらぬご指導・ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

この度、愛知県と岡崎市より社会福祉事業への功勞として顕彰を受けてまいりました

第六十一回愛知県社会福祉大会

十月二十四日

愛知県体育館

## 感謝状

十年勤続 顕彰者名

役員

・ 水越 元

(敬称略)

職員

・ 市川幸雄 ・ 荻野みさ子

(順不同)

・ 河口恵理香 ・ 二村美和子

・ 三井せつ子 ・ 江尻香織

・ 岡田 理 ・ 山口浩貴

・ 鈴木るみ子



岡崎市社会福祉事業功勞者顕彰式

十二月二十一日 岡崎せきらいホール

## 感謝状

福祉勤続功勞者 (順不同)

市長感謝 (十五年勤続)

・ 近藤静子 ・ 荒川英男 ・ 鈴木靖

・ 稲垣理恵 ・ 金原豊明 ・ 岩附衿子

・ 籠崎みゆき ・ 永井誠 ・ 寺田一宏

・ 石川弘法 ・ 岡田進太郎

社会福祉協議会長感謝 (十年勤続)

・ 市川幸雄 ・ 二村美和子

・ 岡田理 ・ 河口恵理香

・ 三井せつ子 ・ 山口浩貴

篤行者 (敬称略・順不同)

市長感謝

・ 早川史子 ・ 戸塚治子

社会福祉協議会長感謝

・ 小河津代子

～ 面会の皆様へのお願い ～

厚生労働省

# 日本全国、みんなで予防 インフルエンザ!

インフルエンザの予防には  
みんなの「かからない」、  
「うつさない」という気持ちがとても大切です。  
手洗いでインフルエンザを予防して、  
かかったら、マスク等せきエチケットも  
忘れないでください。

マメに  
マスク

マメに  
手洗い

インフルエンザ 予防対策ホームページ  
アズキちゃん

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/inf/juensa/index.html

瑞穂会では例年通り、感染症対策として面会の皆様には  
面会前のエアタオル手指消毒・うがいをお願いしております。

また、発熱や咳などの症状のある方につきましては  
面会を自粛していただきますようお願い申し上げます。

## くわが い

『お風呂フォーラム2013』

「個浴の可能性を考える」に参加して」

介護主任 岡田 進太郎

平成25年10月25日に東京都武蔵野市で開催された、

お風呂フォーラム2013に参加させて頂きました。午前中は『入浴ケアがもたらす高齢者の生活の変化』から、『個浴の意味と生活リハビリ入浴』についての講義があり、午後からはくわがいの入浴（個浴）への取り組みとして実践報告をさせて頂きました。

まず、講義の部分で高齢者の生活を支えていく上で3大ケア（食事、排泄、入浴）はとても大切で、3大ケアをどの様に取り組んでいくかが課題であると述べられていました。人間はこの世に誕生して成長していく中で、まず食べる事が一人できるようになり、その次にトイレにて排泄することができ、最後に一人でお風呂に入る事ができるようになります。このように体が生活行為を覚えていきますが、高齢となり体

が不自由になった場合には、体が覚えた事の一番遅かった入浴から介助が必要になり排泄、食事の順番に介助が増えていきます。介護のスタートとなる入浴が正しい（本人に適した）ものでなければ、その後に訪れる排泄や食事の場面でも当然、不適切な介助を行ってしまう恐れがあります。そうになると、いくら機能が残ってみても低下していく一方で、その人らしい生活を送って頂く事はできません。この入浴の場面でいかに機能を活用していけるかを考えていかなければなりません。その一つとして用意されているのが『個浴』になります。個浴とは『個人浴槽』という意味だけでなく、一人ひとりの状態に適した入浴ケアを実施できるための『個別入浴』です。



## くわが い

くわが いでは開所当時より個浴を導入し、生活リハビリ(日常生活動作の中で身体機能を維持・回復)に取り組んでいきます。今後も「お年寄の主体的な生活」「残存機能を活かした生活」をより意識して、入居者様一人ひとりに適した入浴ケアが実践できるよう『個別入浴』に取り組んでいきます。

また実践報告では、個浴での成功例や入浴における課題への取り組み及び結果について発表させて頂きました。施設の開所当時は職員一人ひとりが個浴の意義や介助方法を理解して、入居者様個々の状態に合わせてペースや残存機能を大切にしながら入浴ケアに取り組んで参りましたが、入居者様の高齢化、重度化が進み、また職員への伝達研修が疎かになってしまったことで、介護技術が乏しく、個浴における入浴ケアの意識も薄れてしまいました。

まずは初心に立ち返ろう！と職員への研修を行いました。基本動作の確認や介助方法の見直しを行うことにより、正しい入浴・出浴動作をとるためには必要な環境があることに気が付きました。体の大きな方でも小さな方でも安全で安心して

入浴できるように浴槽のリフォームもすることで、入浴時の動作にも残存機能を活用することができるようになりました。研修を通して、職員の個浴への意識の向上と基本動作及び環境整備についての理解を深めたことにより、入居者様への負担が少ない入浴を提供することができるようになってきたと思います。

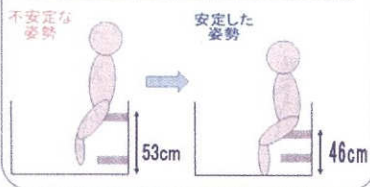
もちろん全ての課題がクリアされたわけではありません。くわが いの方針である『湯ったり、湯つくりの入浴ケア』を実現させ個浴での入浴を楽しんで頂くためにも、私たちは技術の習得及び向上、入浴方法の個別化を図るとともに、生活環境や正しい動作、姿勢の理解など、さらに専門性を高めていきたいと思えます。

その効果とは？(出浴時)



7cmの差をつけることで、安定した座位まで着く事ができた

出浴時の姿勢の変化





## 「介護マークをご存じですか？」

### ● 介護マークとは

認知症の方の介護は、他の人から見ると介護をしていることが分かりにくいいため、誤解や偏見を持たれることがあります。そこで、介護する方が介護中であることを周囲に理解していただくために作成されたのが**介護マーク**です。このマークは静岡県で作成されたもので、全国への普及が進められています。

認知症の方を介護している方は、必要に応じてご利用下さい。また、外出先でこのマークを見かけたら温かく見守ってあげて下さい。

なお、介護マークは認知症の方だけでなく、障害のある方の介護にもご利用できます。

### ● 介護マークを利用する場所(例)

- ◇ 介護していることを周囲にさりげなく知ってもらいたいとき
- ◇ 駅やサービスエリアやショッピングセンターなどのトイレで付き

添うとき

- ◇ 男性介護者が女性用下着を購入するとき

### ● 配布場所

- ◇ 岡崎市市役所・支所
  - ◇ 地域包括支援センター等
- (やはぎ苑地域包括支援センターでも配布しますので、ご希望の方は、やはぎ苑までお越しください。)

### やはぎ苑・グループホーム・第二やはぎ苑全体会議

十二月十一日

腰痛予防 講師 野田整形外科クリニック

野田 美彦先生

ターミナルケアについて やはぎ苑特養

やはぎ苑特養 三浦 雄太

胃ろうの方の経口摂取への取組について

第二やはぎ苑 小松 寛直

倫理要綱と就業規則について

施設長 近藤 静子



出席者全員が、熱心に野田先生の講義を聞き、グループワークでは積極的に意見を交換し合いました。



# 4階 フロア「たまり」

「上手にできたかな？」 十一月二十八日

この日は、入所者の皆さんが、お昼に食べて頂く「手毬すし」を自分で握ってもらいました。

● 用意したネタ  
まぐろ・サーモン・えび・たまご



☆☆☆ 星三つです!



お昼には、自分で作った手毬すしを、とてもおいしそうに笑顔で食べていました。

皆さん、すぐにコツを覚えて上手に作っていました。



「コメダ珈琲矢作店に行ってきました。」

十一月、数日間に分けて、入所者の方数名とコメダに行ってきました。

プロが入れた温かい飲み物とおいしいケーキを食べながら、素敵な時間を過ごして頂きました。



# グループホーム かみさの家



## ぽかぽかユニット食事会 (バーベキュー) 10月15日

認知症と診断を受けた母を見ている苦しみと施設でお世話になるということへの心苦しきの狭間で悩んでいた折「2年も見たのだからもういいよ」とのケアマネージャーさんの言葉に後押しされてかみさの家でお世話になり早いものでもう7年が経ってしまいました。心配りの行き届いたスタッフの皆様のお陰で本人はもちもん、自分の気持ちが楽になっているのをつくづく感じております。最近では皆様の交流会の形で昼食にバーベキューをする機会がもてました。本人の喜ぶ顔……。なかなか私にはみせてくれないのが『家族と食事が楽しく出来る』こんな些細なことで気持ちが癒されるのかと知らされました。今回で3度目のバーベキューもスタッフ・本人・家族の皆様でワイワイ言いながらおにぎり・お肉・野菜等用意し、楽しい1日でした。後日の家族会では、「来年もまたバーベキューをしましょう!!」「庭にベンチを作って近くの方が散歩に来られるようにして、そこでバーベキューを!」と話はずきません。まるで9人の利用者さんを中心にもう1つの大きな家族が出来たようで心癒される思いです。スタッフの皆様の心良い御協力で出来ること感謝にたえません。(Fご家族様)



## 萌ユニット食事会 (バイキング) 10月27日

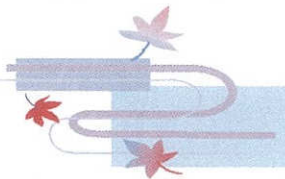
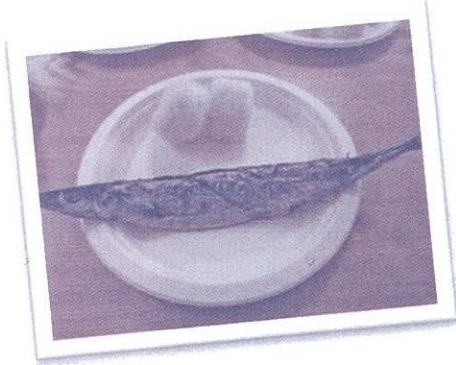
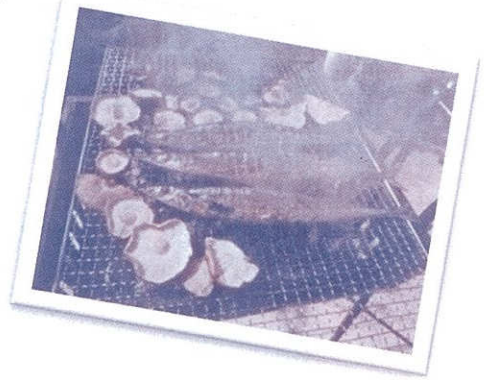
毎日お世話になっている職員の皆さんにもゆっくりして頂こうとケータリングを利用して一緒に食事、歓談の時間が持てれば良いなあという萌家族会からの発案でした。でも当日行ってみれば、手作りのちらし寿司、煮物、汁物、果物も用意して下さっていました。家族会女性軍もキッチンに入らせてもらい、ワイワイ・ガヤガヤ少しお手伝いさせてもらいました。お台所の様子、普段の食事の手順、準備等も体験することが出来ました。その後、母を担当して下さっている職員さんとテーブルを囲み、自己紹介や日頃の母達の様子等を伺いながらの美味しい感謝のひと時でした。ありがとうございました。(次は萌でもバーベキュー?) (Hご家族様)



# 第二やはぎ苑

## 『収穫祭』を開催しました

10月27日に第二やはぎ苑で、『収穫祭』を開催しました。  
第二やはぎ苑では、今秋より、ご入居・ご利用の皆様にお召し上がりいただくお米を、地域で【合鴨農法】<sup>あいがものうほう</sup>に取り組んでいらっしゃる農家さんから購入したものに切り替えを行いました。



そこで、そのPRを含め、新米の「おにぎり」と、秋の味覚「さんま」、根菜たっぷりの「豚汁」を皆さまにお召し上がりいただきました。



### あいがものうほう 合鴨農法とは

稲作中に、合鴨（あいがも）を水田に放つことで

- ・ 雑草や害虫を食べて駆除してくれる
- ・ 水田の土や水をかき回して酸素を供給してくれる
- ・ アイガモの糞が肥料になる

といったメリットがあり、その結果、農薬を減らすことができ、人にも自然にもやさしいお米ができあがります。

その他にも、こちらの水田では、EMボカシという自然の肥料を用いたり、冬季はレンゲ畑にすることで、自然の力をじゅうぶんに活用した稲作が行われています。



冬季のレンゲ畑



## 『オカリナ合奏団』の演奏をお聴きしました

11月28日岡崎オカリナ合奏団の皆さんがお越しくださり、素敵な音色のオカリナ演奏をお聴かせくださいました。  
多機能ご利用者様、特養入居者様ともに、ゆっくりお聴きになり、時には一緒にご参加されながら、楽しめました。

## 高齢者を支える家族の会のお知らせ

今回の介護者教室では、「遺言・相続と成年後見」と題して

講習会の開催を予定しています。

・日程 平成26年1月28日(火)

午後1時30分～2時30分

・会場 やはぎ苑 1階会議室

・対象 特に条件はありません(定員20名程度)

・内容 成年後見制度とは？ 遺産・相続について

・講師 司法書士 三國 肇先生

(リーガルサポート愛知支部)

へ申し込み・問合わせ先

やはぎ苑地域包括支援センター

TEL 0564・34・2345



「ありがとうございました」

ご寄附・ご寄贈(平成二十五年十月)

平成二十五年十二月)

岩瀬	容子	様
伊藤	ますよ	様
清水	浩和	様
安藤	静子	様
伊神	春子	様
脇田	琢郎	様
奥田	鎮夫	様

## 編集後記

その年の世相を漢字一文字で表す年末恒例の『今年の漢字』が『輪』に決まりました。2020年の東京オリンピック開催決定や、楽天ゴールデンイーグルスのチーム結束力などが理由に挙げられています。揮毫を終え、京都清水寺の森貫主は「来年も力を合わせて、『平和な輪』のつながりの世に向けて、努力していこう」と呼びかけられました。私たちも今までつないできた『輪』を大切にし、またこの一年間の新たなつながりに期待して日々過ごしていきたいと思えます。

